

令和4年 第2回定例会

令和4年11月14日 17日間

南信州広域連合議会会議録

南信州広域連合事務局

令和4年南信州広域連合議会第2回定例会

会 期

自 令和4年11月14日（月）
 会 期 17日間
 至 令和4年11月30日（水）

日 程 表

月日	曜日	日 程	頁
		開 会 令和4年11月14日（月曜日）	
11.30 （開会日）	水	開 議 令和4年11月30日（水曜日） 午後1時30分 日程第 1 会議成立宣言 // 第 2 議員辞職の許可 // 第 3 議席の指定 // 第 4 議会運営委員の選任 // 第 5 総務産業委員の選任 // 第 6 医療福祉委員の選任 // 第 7 消防環境委員の選任 // 第 8 会議録署名議員指名 // 第 9 一般質問 // 第10 議案審議 (1) 委員会付託議案（6件） 議案第15号から議案第20号まで 委員長報告、質疑、討論及び採決	8 8 8 9 9 10 10 11 11 20 24
		閉 会	24

付議議案及び議決結果一覧表

《予算案件》

議案番号	議案名	上程月日	議決月日	結果	議決頁
議案第15号	令和4年度南信州広域連合一般会計補正予算（第4号）案	11月14日	11月30日	可決	22
議案第16号	令和4年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計補正予算（第1号）案	11月14日	11月30日	可決	21

《決算案件》

議案番号	議案名	上程月日	議決月日	結果	議決頁
議案第17号	令和3年度南信州広域連合一般会計歳入歳出決算認定について	11月14日	11月30日	認定	22
議案第18号	令和3年度南信州広域連合南信州広域振興基金特別会計歳入歳出決算認定について	11月14日	11月30日	認定	20
議案第19号	令和3年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計歳入歳出決算認定について	11月14日	11月30日	認定	21
議案第20号	令和3年度南信州広域連合稲葉クリーンセンター特別会計歳入歳出決算認定について	11月14日	11月30日	認定	21

《委員会提出案件》

議案番号	議案名	上程月日	議決月日	結果	議決頁
発委第1号	南信州広域連合議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	11月14日	11月14日	可決	—
発委第2号	南信州広域連合議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	11月14日	11月14日	可決	—

一般質問の質問事項

順序	発言通告者	質問事項	頁
1	小平一博	<p>1 信州大学新学部の誘致について</p> <p>(1) 4年制大学の新学部誘致は、南信州の市町村にどんな未来をもたらすか。</p> <p>①新学部誘致活動の経過は。</p> <p>②4年制大学の誘致活動は、学部学科など、どのような考えをもって行うか。</p> <p>③先日の三遠南信サミットにおける新学部誘致に関する連合長発言の真意は。</p> <p>④新学部誘致に当たり、キャンパスの立地や学生等に魅力ある施設を考えてはどうか。</p>	12

令和4年第2回定例会

南信州広域連合議会会議録

令和4年11月30日

南信州広域連合事務局

令和4年南信州広域連合議会第2回定例会会議録

(第2号)

令和4年11月30日(水曜日)

午後1時30分 開議

日 程

開 議

- 第 1 会議成立宣言
- 第 2 議員辞職の許可
- 第 3 議席の指定
- 第 4 議会運営委員の選任
- 第 5 総務産業委員の選任
- 第 6 医療福祉委員の選任
- 第 7 消防環境委員の選任
- 第 8 会議録署名議員指名
- 第 9 一般質問
- 第10 議案審議

(1) 委員会付託議案(6件)

議案第15号から議案第20号まで

委員長報告、質疑、討論及び採決

閉 会

出席議員 31名

(別表のとおり)

欠席議員 2名

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の職・氏名

(別表のとおり)

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

(別表のとおり)

日程第 1 会議成立宣言

○議長（井坪 隆君） ただいまから、令和 4 年南信州広域連合議会第 2 回定例会を開会いたします。

現在の出席議員は 3 0 名でございます。よって、本日の会議は成立いたしております。

本日の会議に原 和世議員から都合のため遅刻する旨、吉田哲也議員、米山郁子議員から都合のため欠席する旨の申出がありましたので御報告いたします。

これより、本日の会議を開きます。

日程第 2 議員辞職の許可

○議長（井坪 隆君） 日程を追加し、議員辞職の許可を議題といたします。

間瀬重男議員、黒澤哲郎議員からそれぞれ議員の辞職願が提出されております。

お諮りいたします。

間瀬重男君、黒澤哲郎君の議員の辞職を許可することに御異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（井坪 隆君） 御異議なしと認めます。

よって、間瀬重男君、黒澤哲郎君の議員の辞職を許可することに決定いたしました。

日程第 3 議席の指定

○議長（井坪 隆君） 議席の指定を行います。

松川町議会におきまして、広域連合議会の議員を選出いただいております。よって、南信州広域連合議会会議規則第 3 条第 2 項の規定により、議長において議席の指定をいたします。

議席番号及び議員の氏名を書記長をして朗読いたさせます。

小椋総務課長。

○事務局総務課長（小椋貴彦君） それでは、議席番号と氏名を読み上げさせていただきます。

1 9 番 米山郁子議員

2 0 番 大蔵 洋議員

2 1 番 中平文夫議員

以上でございます。

○議長（井坪 隆君） ただいまの朗読のとおり議席を指定いたします。

日程第4 議会運営委員の選任

○議長（井坪 隆君） これより、南信州広域連合議会運営委員の選任を行います。

現在、議会運営委員のうち1名が欠員となっております。したがって、今定例会で南信州広域連合議会委員会条例第4条第1項の規定により、議長において議会運営委員を指名いたします。

委員の氏名を書記長をして朗読いたさせます。

小椋総務課長。

○事務局総務課長（小椋貴彦君） では、議席番号と氏名を読み上げさせていただきます。

21番 中平文夫議員

以上でございます。

○議長（井坪 隆君） お諮りいたします。

ただいまの朗読のとおり、中平文夫君を議会運営委員に選任したいと思いますが、これに御異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（井坪 隆君） 御異議なしと認めます。

よって、中平文夫君を南信州広域連合議会運営委員に選任することに決定いたしました。

日程第5 総務産業委員の選任

○議長（井坪 隆君） これより、南信州広域連合議会総務産業委員の選任を行います。

このたび、総務産業委員会の中平委員から委員の辞任願が議長宛てに提出され、議長において、広域連合議会委員会条例第12条の規定に基づき、辞任を許可いたしました。

現在、総務産業委員のうち1名が欠員となっております。したがって、今定例会で南信州広域連合議会委員会条例第1条の3第1項の規定により、議長において総務産業委員を指名いたします。

委員の氏名を書記長をして朗読いたさせます。

小椋総務課長。

○事務局総務課長（小椋貴彦君） それでは、議席番号と氏名を読み上げさせていただきます。

20番 大蔵 洋議員

以上でございます。

○議長（井坪 隆君） お諮りいたします。

ただいまの朗読のとおり、大蔵 洋君を総務産業委員に選任したいと思いますが、これに御異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（井坪 隆君） 御異議なしと認めます。

よって、大蔵 洋君を南信州広域連合議会総務産業委員に選任することに決定いたしました。

日程第6 医療福祉委員の選任

○議長（井坪 隆君） これより、南信州広域連合議会医療福祉委員の選任を行います。

現在、医療福祉委員のうち1名が欠員となっております。したがって、今定例会で南信州広域連合議会委員会条例第1条の3第1項の規定により、議長において医療福祉委員を指名いたします。

委員の氏名を書記長をして朗読いたさせます。

小椋総務課長。

○事務局総務課長（小椋貴彦君） それでは、議席番号と氏名を読み上げさせていただきます。

19番 米山郁子議員

以上でございます。

○議長（井坪 隆君） お諮りいたします。

ただいまの朗読のとおり、米山郁子君を医療福祉委員に選任したいと思いますが、これに御異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（井坪 隆君） 御異議なしと認めます。

よって、米山郁子君を南信州広域連合議会医療福祉委員に選任することに決定いたしました。

日程第7 消防環境委員の選任

○議長（井坪 隆君） これより、南信州広域連合議会消防環境委員の選任を行います。

現在、消防環境委員のうち1名が欠員となっております。したがって、今定例会で南信州広域連合議会委員会条例第1条の3第1項の規定により、議長において消防環

境委員を指名いたします。

委員の氏名を書記長をして朗読いたさせます。

小椋総務課長。

○事務局総務課長（小椋貴彦君） それでは、議席番号と氏名を読み上げさせていただきます。

21番 中平文夫議員

以上でございます。

○議長（井坪 隆君） お諮りいたします。

ただいまの朗読のとおり、中平文夫君を消防環境委員に選任したいと思いますが、これに御異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（井坪 隆君） 御異議なしと認めます。

よって、中平文夫君を南信州広域連合議会消防環境委員に選任することに決定いたしました。

ここで、議会運営委員会の副委員長を互選するため、議会運営委員会を開催いたしますので、本会議を暫時休憩いたします。

（休 憩）

（再 開）

○議長（井坪 隆君） それでは、休憩を閉じ、会議を再開いたします。

休憩中に議会運営委員会を開催し、副委員長が互選されましたので、書記長をして報告いたさせます。

小椋書記長。

○事務局総務課長（小椋貴彦君） 議会運営委員会副委員長に、小平一博委員が選任されたので、御報告いたします。

○議長（井坪 隆君） 次の日程に進みます。

日程第8 会議録署名議員指名

○議長（井坪 隆君） 会議録署名議員に山崎昌伸君、熊谷泰人君を指名いたします。

次の日程に進みます。

日程第9 一般質問

○議長（井坪 隆君） これより、一般質問を行います。

一般質問は1名の通告がありました。

一般質問につきましては、一問一答方式とし、質問及び答弁を合わせて40分以内とすることになっておりますので、質問、答弁とも簡潔、明瞭に願い、会議の進行に御協力くださるようお願いいたします。また、質問は所定の質問席にてお願いいたします。

それでは、発言を認めます。

小平一博君。

○18番（小平一博君） 18番、小平一博です。通告に従いまして質問をいたします。

質問事項は、信州大学の南信州誘致を問うでございます。

現在、誘致活動を行っています4年制大学南信州誘致は、先人からの悲願であり、この地域の振興、産業発展に大きく貢献するものと思います。

質問の（1）でございます。まず、4年制大学は、この南信州の飯田市郡部にとってそれぞれどんな未来をもたらすのか、質問をいたします。

○議長（井坪 隆君） 佐藤連合長。

○広域連合長（佐藤 健君） ただいま小平議員から南信州にとって信州大学、あるいは4年制大学の誘致がどのようなメリットをこの地域にもたらすかと、そういう御発言でありますけれども、まずは、この地域に暮らしながら大学に通える、そういう環境が、その選択肢がこの地域の子供たちに与えられる。このことについては、本当にこれまでまさに悲願というふうに御発言されましたけれども、先人の皆さんがぜひそういう環境をつくりたい、長年活動をしてこられた、この子供たちにとっての学びの場ができると、これが非常に大きなメリットの一つであると思います。

それから、大学ができる、4年制大学ができるということは、そこに大学の研究機能がある、できるということにもなりますので、その大学の研究機能が設置されることによる産業振興への好影響、これも非常に大きなメリットということになるかと思えます。大学の研究室と地域の企業が連携をして、いろいろな新しい産業づくり、あるいは産業の基盤をつくっていくということになりますし、またそこで育つ人材、これが地域の産業を支える人材になっていくとこういったメリットは大きいというふうに思っております。

加えて、学部の専門の領域の内容にもよりますが、そこで起こる新しい研究といったようなことが、新たな研究を呼ぶ、研究機能があるということで、他地域からその信州大学との連携を求めて企業が集積する、そういった可能性もあるということかというふうに思います。そういった人材育成、そして産業振興の面でこの地域にとって大

きなメリットがあるということかと思えます。

さらには、学生の皆さん、それから教授陣の皆さん、大学関係者がこの地域に住むということでは、当然そこに消費活動が起こるわけですから、その消費活動による地域経済の振興ということも当然のメリットということになるかと思えますので、今申し上げたようなことがこの地域にとっての大学誘致のメリットということになるかと思えます。

○議長（井坪 隆君） 小平一博君。

○18番（小平一博君） ありがとうございます。続いて、①の質問に移ります。

それでは、この信州大学新学部誘致の経過につきましてお聞きしたいと思います。

○議長（井坪 隆君） 吉川事務局長。

○事務局長（吉川昌彦君） それでは、私のほうから経過についてその概要を申し上げたいと存じます。

昨年になります、令和3年10月に信州大学の学長に新たに就任をされました中村学長が、新学部創設設置を目指すことを発表をいたしました。それに続きまして、当地域がその誘致に名のりを上げたということでございます。

令和4年の1月には、信州大学新学部誘致推進協議会を設立をいたしまして、企業や団体、個人の皆さんと連携して新たに誘致に取り組む体制を整えてきたところでございます。協議会への参加募集や広報活動をその後展開しておりまして、現在では、この協議会に2,000を超える企業、団体、あるいは個人の皆様に参加をいただいているというそういう状況となっております。

続きまして、令和4年2月22日でございますけれども、協議会といたしまして信州大学を訪問をいたしまして、当地域に新学部の設置を求める要望書を携えまして、要望活動を実施してまいったという経過がございます。

また、4月25日でございますが、新学部誘致を表明しております当地域、南信州とあと長野市に対しまして、新学部構想に対する地域の支援内容について、信州大学側から照会がございまして、当地域としての考えを5月に回答をしてきたということでございます。

また、5月には、飯田商工会議所あるいは飯田市役所に誘致推進のための横断幕が設置されました。その後、この圏域の全ての市町村の全ての役場に懸垂幕等を設置をいただいたという状況でございます。

6月20日でございますが、信州大学新学部誘致推進協議会の総会を対面にて開催を

いたしまして、今年度の活動方針、あるいは事業計画等を決定をいたしました。また、誘致を実現するための決議を採択をしていただいたという経過がございます。

その後でございますが、6月30日に中村学長が当地域を訪れまして、設置の場所の議論が先行してしまっている状況がございましたが、まずは学内、信州大学の学内において養成する人材像や新学部の設置目的などを慎重に論議をしたいというそういった説明がございました。

私からは以上でございます。

○議長（井坪 隆君） 小平一博君。

○18番（小平一博君） 私は、この誘致活動の過程の中で、先ほどもちょっとお話がございました長野市がやはり参入してきたというのはあると思うんですね。そういう言葉が事務局長のほうから話がありましたので、その辺についてお話を私のほうからさせていただきますけれども、長野市が手を挙げなければ、もう今頃、信州大学の南信州キャンパスということで、この地域が盛り上がりおったんじゃないかと私は思うんです。それだけ、今の経過の中で言われておりましたけれども、大変盛り上がりました。各市町村、垂れ幕を皆さんかけてありまして、これはもう本当に飯田下伊那の皆さんが、その信州大学を誘致したいんだと、そういう気持ちがあったことは確かだと思います。

ところが、長野市が手を挙げたということで、結局信州大学としても工学部が長野市にありますから、工学部もありますし、ほかの学部も幾つかあるわけですがけれども、長野市と信州大学というのはそれなりの相互関係があると思いますし、当然、もう深い関係でつながっておるわけですから、長野市が参入することは想定はしていなかったかなと思うんですけれども、参入したことによって、南信州へキャンパスをつくる、新学部をつくるというのは、そこで困ったと、信州大学としても困ったなということになったんじゃないかと私は想定いたします。多分そうだと思います。

そういうことの中で信州大学の誘致に関して、長野市が参入したということは、連合長としてはどのようなお考えでそれを受け止めたのか、補足質問ということでお聞きしたいと思います。

○議長（井坪 隆君） 佐藤連合長。

○広域連合長（佐藤 健君） 長野市に限らず、他の地域から誘致の声が上がることは想定は もちろんしていましたので、飯田市だけが手を挙げてそこにすんなり決まるというものでもないだろうなと思っていました。でしたので、長野市が手を挙げたということについては、そういうふうに淡々と受け止めたということです。

その後の信大の中の議論というのは、ちょっと分かりづらいところがありますけれども、立地の話が先行したことによって、新学部の検討の話が少し学外が少し騒がしくなったということで、中村学長としては、学内の議論、新学部の設置の意義とか、そこでどういう人材を育てるといったようなことをしっかり検討した上で、次に立地の話を検討したいということで、少し時間が欲しいという御発言をされたと、御説明をされたということなので、質問のことにそのままお答えするとすれば、長野市が手を挙げたことについては、私としては淡々と受け止めたとそういうことです。

○議長（井坪 隆君） 小平一博君。

○18番（小平一博君） 次の質問に移ります。

②でございますが、今後4年制大学の学部や学科をどのような考えをもって誘致活動を行うのかお聞きしたいと思います。

○議長（井坪 隆君） 佐藤連合長。

○広域連合長（佐藤 健君） どういった学部の内容にするかについては、これもまさに学内での検討ということになるので、我々のほうで何か予断をもって申し上げるべきことではなかろうとは思いますが、報道でも出ていますように、情報系の新学部をという検討がなされているということです。そうであれば、この地域にはリニア中央新幹線が通るという予定があるわけですから、リニアのトンネルの中には大容量、高速の大容量の通信線が引かれると、そういう環境もできますので、そういったことも含めて、この地域にキャンパスを置く、学部を設置することは、信州大学にとっても大きなメリットがある、あるいはそこに学ぶ学生や研究活動をする先生方にとって大きなメリットがあると、こういったことはこれまでもアピールをしてきているわけですが、引き続きそういったこの地域に大学を置くことの、キャンパスを置くことの信大にとってのメリットということもしっかりPRをしていきたいというふうに思います。

○議長（井坪 隆君） 小平一博君。

○18番（小平一博君） そうしますと情報系をということですから、当初からそういうことを言っておりましたので、これは変わらないということで、そのように捉えていきます。続きまして、③の質問です。

佐藤連合長は、10月24日に飯田文化会館で行われた「三遠南信サミット2022 in 南信州」において、信州大学新学部の誘致について発言をされました。それについての真意をお聞きしたいと思います。

○議長（井坪 隆君） 佐藤連合長。

○広域連合長（佐藤 健君） 信州大学の関連のコメントについて、その詳細な言葉まで私自身覚えていないんですけれども、趣旨としては、リニアが通る沿線地域に大学が立地するという点については非常に、先ほど申し上げたように、大学側にとってのメリットが大きい。ですので、当面、今我々は信州大学の新学部の誘致に全力を挙げて取り組んでいるわけなんですけれども、そこに加えて、私立も含めた首都圏や名古屋圏の大学がさらに複数誘致できるとすれば、それはもうそれにこしたことはないので、信州大学に当面は取り組んでいきますけれども、それ以外をやらないかと多分問われたのだと思いますけれども、それに対して、もちろんほかの大学についてももしっかりそういった動きがあれば捉えていきたいとそういうことを申し上げました。

○議長（井坪 隆君） 小平一博君。

○18番（小平一博君） そういうようなお話だったんですが、私は頭の中へ入っているのは、やはりほかの大学でもいいよと、そういうようなちょっと捉え方をしたんですが、多少ちょっと違うかもしれません。ということで、とにかく信州大学じゃなくても、もう幾つか候補があれば、その中のも選択してもいいよというようなことでよろしいんですね。

○議長（井坪 隆君） 佐藤連合長。

○広域連合長（佐藤 健君） 信州大学にはこだわります。これはこだわるんです。これは目の前に今チャンスがある以上、これはこだわっていきます。

ただ、それ以外の選択肢が来たときに、信大があるんでお断りしますというようなことはゆめゆめ申し上げるつもりはないので、2つでも3つでもこの地域に大学ができるように全力を尽くして頑張りたいということです。

○議長（井坪 隆君） 小平一博君。

○18番（小平一博君） それでは、信州大学誘致で変わらないと、基本的なことは変わらないということでもいいわけですね。

それでは、補足の3番目ということで、この関係をお聞きします。これはこの信州大学がまだ飯田と長野にはまだ決定していないという話がありました。そういう経過の中であったと思うんですけれども、それ以後、信州大学との話し合いは行われておるのでしょうか。それとも今後行う予定があるのでしょうか。

○議長（井坪 隆君） 佐藤連合長。

○広域連合長（佐藤 健君） 先ほど申し上げましたように、中村学長からは当面ちょっと学内で新学部の内容やそこで育てる人材像についてしっかり議論をしたいということです。

ので、6月に学長がお見えになってそのような御説明を受けてから、直接信州大学と飯田市あるいは長野市が話をするという機会はないということです、ここまで。今後、また立地についての話に学内の検討が及んできたときには、それに対してのヒアリングがあったり、あるいは意見交換があったりというのはこれからは出てくると思います。そういった機会に先ほど申し上げたような当地域にキャンパスを置くことのメリットについて改めてしっかり主張をしていきたいというふうに思います。

○議長（井坪 隆君） 小平一博君。

○18番（小平一博君） 今、話がありましたけれども、これはもうその後の話合いはしていないというように理解をいたしました。

ということは、信州大学もいいように考えれば、南信州に持っていきたいなということで一生懸命頑張っておると、検討しとるというように、いいほうでは理解できるんですけども、なかなか先ほども言いましたけれども、長野市と南信州という形で手を挙げているわけですから、なかなか信州大学も大変だなと私は思います。

それで、私が先ほど連合長が信州大学では行くけれども、もっといいところがあればいろいろ検討したいなというようなことを言っていたということでお話をさせていただきますと、私は、これは通告はしておりませんので、この今後私どもこの信州大学、大学を4年制大学をこの南信州地域につくりたいというのは共通した意見だと思います。

そうしますと、私は県がもうちょっと考えてくれればいいなというように思っているんです。例えば、信州大学は国立ですけれども、長野の県立大学がありまして、2つの学部があります。そんな中で県立大学、県が南信州に大学を設置するようなそういうこともやはり、信州大学はメインでいいんですけれども、考えてもらってもいいのかなと思っておりますので、ちょっとお話しさせていただきます。

遡ること1998年、今から24年前に行われました長野オリンピック、これには莫大な県費を使い、オリンピックの名の下に多くの関連施設、道路が整備されました。長野オリンピックが終わったら、南信地方にも県の予算を多くつけてインフラなどを整備するのだと聞いておりましたが、しかしその実行は私たちの目には入ってきていないと私は思っております。ますます南北差が開いてきたと思います。

私はこのようなことから、今私たちが望んでいる4年制大学誘致は、県が主体となり県の大学として南信州へキャンパスをつくるように要求したらどうかと思っております。金銭的にも4年制大学といいますと、それ相応の費用がかかりますし、信州大学新学部誘致に南信州広域連合が用意した基金は15億円と聞いております。実際にはもっと、

もつともつとかかると思います。南信州広域連合の各自治体の負担も大きくなってきます。それらの設立に関わる費用は、県が主体でつくるということも私は要求してもいいんじゃないかなと思っています。

また一方、10年しないうちにリニアの新幹線が開通いたします。首都圏、また中京、関西の大学がぜひ信州の南信州に学部、新しいキャンパスをつくって、そこで信州キャンパスとして開学したいと、オープンしたいというようなことがあるといいなということをお私としては思っております。

この件は、私の意見提案とさせていただきますが、何か意見があれば、連合長のほう。

○議長（井坪 隆君） 佐藤連合長。

○広域連合長（佐藤 健君） 今、小平議員がおっしゃったような地域バランスとして北高南低という全般的な話は常に出ていると同時に、県内の一定程度の人口集積がある圏域の中で4年制大学がないのはもう恐らくここだけなんですね。そういった県の均衡ある発展だとか、地域バランスだとかそういうことを考えても、県が主体的にその大学の設置について考えてほしいという小平議員の意見には私も賛同したいと思います。それが県立大学のという形になるのか、それ以外の形になるのかはともかくとして、県として、この地域に4年制大学がないというこのことについての問題意識をはっきり持っていていただきたいというふうに思っていますので、ちょうどこの金曜日に知事と市民の皆さんとの意見交換会というのが飯田市内で行われます。そのテーマが「大学のあるまちをつくる」とそういうテーマになっていますので、その中で私からもその地域バランスの話はぜひ申し上げたいと思いますし、御参加いただく市民の皆さんからもそういった話が恐らく出ると思います。そういった問題意識をぜひ知事にも持っていていただいて、この地域の大学設置にかける思いというのをぜひ受け止めてもらえるように私からもしっかり発言していきたいというふうに思います。

○議長（井坪 隆君） 小平一博君。

○18番（小平一博君） 大変力強い、私に対する意見をいただきましてありがとうございます。ぜひ、とにかく4年制をつくるのが、大学をつくっていわゆる地域に貢献するという、そういうものをつくるということが、私は目的だと思います。やはり、信州大学とか言っても、50年も100年もたつたつてしょうがないんで、やはりめどが立つようにぜひ早めにやっついていかないと、意味がなくなっちゃうと私は思いますので、ぜひそこら辺り考えていただきたいなと思います。

それでは、次に④ですね、質問に移ります。

今後まだ誘致活動というのは続いていくと思いますが、リニア駅に近く、高速道路のインターにも近い、環境のよい魅力あるキャンパスが必要だと思います。この地域の段丘を生かした広々とした場所でのキャンパスライフができるところが私はいいのではないかと思います。そういうことについて事務局のほうで何か考えがあるようでしたらお聞きしたいと思います。

○議長（井坪 隆君） 佐藤連合長。

○広域連合長（佐藤 健君） まず、今の質問の御答弁の前に、時間をかけないでという、できるだけスピーディーにというお話がありました。それについては私も全く同感ですが、中村学長が新しい学長に就任するに当たって、自分のプランを示されたわけですけれども、その学長の任期6年間の間に新しい学部の創設について検討するんだということでおっしゃっているわけですから、その6年間の間にその新学部についての話がめどが付き、当然そこに立地の話も出てくると思いますので、まずはその中村学長の任期の間にそういった方向づけがきちんと出るように私たちとしてもしっかり活動していきたいというふうに思います。

それからキャンパスの場所ですけれども、これについてはまさに立地する大学側のほうでどういうところを条件として考えるかということかと思えます。恐らく公共交通だとか、あるいは今おっしゃったようなリニアだとか、高速道路とかの交通が便利なところという条件もあるでしょうし、あるいはお金の金銭的なこともあるでしょう。

そういった中で新学部の人数にもよりますが、まずはこのエス・バードの中に既に信州大学の航空機システムの講座、あるいはこの来年の4月から講座が始まるランドスケープの講座がある、その信州大学としての足がかりがあるこのエス・バードで1棟校舎が空いていますので、そういったところの御活用はいかがでしょうかという話を我々からは1つの提案として申し上げます。別にその1つに、そこに絞っているというよりは、そういうものもありますよということで申し上げますね。そういった中で、より広い、あるいはこういう場所という御希望があれば、そういう場所を探したり、一緒にそこでキャンパスづくりに力を合わせると、そういったことはあると思いますので、これはまさに学内でのそういった場所についての議論の中でいろんな御提案があれば地元としてしっかり受け止めて一緒に考えていくということだと思います。

○議長（井坪 隆君） 小平一博君。

○18番（小平一博君） ありがとうございます。

最後になりましたが、早く私たちの目的が達成できることを期待し、以上で一般質問

を終わります。

ありがとうございました。

○議長（井坪 隆君） 以上で、小平一博君の一般質問を終わります。御苦労さまでした。

次の日程に進みます。

日程第 10 議案審議

○議長（井坪 隆君） これより、議案審査に入ります。

去る 11 月 14 日に各常任委員会へ付託し、審査を願うことにいたしました議案 6 件について、審議を願うことといたします。

◇ 総務産業委員会付託議案 議案第 18 号

○議長（井坪 隆君） 初めに、議案第 18 号を議題とし、総務産業委員会の報告を求めます。

総務産業委員長、竹村圭史君。

○総務産業委員長（竹村圭史君） 総務産業委員会に付託となりました議案 1 件、議案第 18

号「令和 3 年度南信州広域連合南信州広域振興基金特別会計歳入歳出決算認定について」につきましては、原案のとおり認定することに決定いたしました。

審査の概要について申し上げます。

マーケティングの視点による持続可能な地域づくりプロジェクト事業について、「主体となっている NPO 法人は、またその構成員は」との質疑があり、「事業を行っているのは南信州山都共同社中であり、構成員は主に広域連合で取り組んできたマーケティング研究のメンバーである」との答弁がありました。

以上で報告を終わります。

○議長（井坪 隆君） ただいまの委員長報告について御質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（井坪 隆君） なければ質疑を終結いたします。

討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（井坪 隆君） なければ討論を終結いたします。

これより、議案第 18 号を採決いたします。

お諮りいたします。

議案第 18 号について、委員長報告のとおり認定することに御異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(井坪 隆君) 御異議なしと認めます。

よって、議案第18号は、委員長報告のとおり認定されました。

◇ 消防環境委員会付託議案 議案第16号、議案第19号、及び議案第20号

○議長(井坪 隆君) 次に、議案第16号、議案第19号、及び議案第20号の以上3件を一括議題とし、消防環境委員会の報告を求めます。

消防環境委員長、熊谷泰人君。

○消防環境委員長(熊谷泰人君) 消防環境委員会に付託となりました議案3件につきましては、いずれも原案のとおり可決または認定することに決定いたしました。

審査の概要について申し上げます。

初めに、議案第16号「令和4年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計補正予算(第1号)案」の審査で、消防車両の修繕料について、「消防車両の定期的な点検を行っているか」との質疑があり、「点検は行っているが、今回は普段点検が及ばないところに大きくさびが入ってしまったことによる修繕である」との答弁がありました。

次に、議案第19号「令和3年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計歳入歳出決算認定について」の審査では、圏域消防力の充実強化について、「職員によるプロジェクトでの施設設備等検討とは」との質疑があり、「基本設計に当たり、仮眠室や訓練施設など具体的なものを職員から意見を集めた」との答弁がありました。また、消防施設等の維持及び更新事業について、「消防施設全体についての管理計画は」との質疑があり、「財政計画を立てて進めている。庁舎の維持管理は隔年で調査を行っており、優先順位をつけて改修を行っている」との答弁がありました。また、「管理計画はきちんと立てて、随時精査されたい」との要望がありました。

なお、議案第20号「令和3年度南信州広域連合稲葉クリーンセンター特別会計歳入歳出決算認定について」の審査については、特に申し上げることはございません。

以上で報告を終わります。

○議長(井坪 隆君) ただいまの委員長報告につきまして御質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(井坪 隆君) なければ質疑を終結いたします。

討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（井坪 隆君） なければ討論を終結いたします。

これより、議案第16号、議案第19号、及び議案第20号の以上3件を採決いたします。

お諮りいたします。

議案3件について、委員長報告のとおり決定することに御異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（井坪 隆君） 御異議なしと認めます。

よって、議案3件は、委員長報告のとおり決定されました。

◇ 各常任委員会付託議案 議案第15号及び議案第17号

○議長（井坪 隆君） 続いて、議案第15号及び議案第17号の以上2件を一括議題といたします。これらの議案は、各常任委員会へ分割付託されておりますので、委員会ごとに審査結果の報告を求めます。

初めに、総務産業委員会の報告を求めます。

竹村圭史君。

○総務産業委員長（竹村圭史君） 議案第15号及び議案第17号のうち、総務産業委員会の分担となりました部分につきましては、いずれも原案のとおり可決または認定することに決定いたしました。

初めに、議案第15号「令和4年度南信州広域連合一般会計補正予算（第4号）案」の審査の概要について申し上げます。

歳出2款1項1目、一般管理費の審査の中で、南信州広域連合事務管理センター施設管理費の補正の内訳について質疑があり、「需用費は、ワクチン接種会場として使用していることによる空調用の燃料費、電気代の補正である。また工事請負費は、3台ある室外空調機器のうち、1台の交換が必要な状態となり、設備の交換工事を行うための補正である」との答弁がありました。

また、2款1項3目、リニア地域づくり推進費の審査の中で、「地方版図柄入りナンバープレート推進事業費の内容は何か」との質疑があり、「御当地ナンバーの導入に向け、2回目のアンケート調査を実施するための印刷費や郵送料が主なものである」との答弁がありました。

続いて、議案第17号「令和3年度南信州広域連合一般会計歳入歳出決算認定について」の審査の概要について申し上げます。

南信州移住促進プロジェクト事業について、「予算額に対し、決算額が少ない理由は何か」との質疑があり、「対面で実施を計画していた移住関係のツアーなどがコロナ禍で中止となったため執行額が少なくなった。代替措置として、オンラインセミナーなどを開催した」との答弁がありました。

また、産業振興と人材育成の拠点事業に関し、「エス・バードに設置されているフライトシミュレーターが、長期にわたり動いていないようだが対応は」との質疑があり、「フライトシミュレーターは、指定管理者である南信州・飯田産業センターが独自事業として設置している。検討をしているものの、精緻な機械であり、修繕がなかなか難しいと聞いている」との答弁がありました。

以上で報告を終わります。

○議長（井坪 隆君） 続いて、医療福祉委員会の報告を求めます。

医療福祉委員長、木下徳康君。

○医療福祉委員長（木下徳康君） 議案第15号及び議案第17号のうち、医療福祉委員会の分担となりました部分につきましては、いずれも原案のとおり可決または認定することに決定いたしました。

初めに、議案第15号「令和4年度南信州広域連合一般会計補正予算（第4号）案」の審査の概要について申し上げます。

歳出3款2項4目、看護師等確保対策事業費の審査の中で、基金積立金の内容について質疑があり、「今年度貸与を決定した学生10名が卒業するまでに必要となる金額を積算し、現行の基金の不足額を今回積み立てているもの」との答弁がありました。

続いて、議案第17号「令和3年度南信州広域連合一般会計歳入歳出決算認定について」の審査の概要を申し上げます。

3款1項14目、在宅医療・介護連携推進事業費において、「昨年同様、コロナの影響を受け、人生会議の講演会が予定どおり開催できなかった状況であるが、この事業の目的は」との質疑があり、「本事業は、住民の方が最期を迎えるに当たり、安心して暮らしていくことができる社会を目指すために、地域包括ケアシステムを構築することを目的としている。人生会議はその取組みの一環であり、大変重要な位置づけを担っている。啓発活動を含めた実施方法について検討してまいりたい」との答弁がありました。

また、3款1項2目、入所連絡費の審査の中で、「養護老人ホームにも大勢待機者が見受けられるが、減らない理由は何か」との質疑があり、「入所については、御本人の意向を尊重するため、施設の場所等により、御希望にそぐわず入所に至らない場合があ

る」との答弁がありました。

また、3款2項2目、相談支援事業費の審査の中で、「委託料の設定について」質疑があり、「委託料は1年間の契約を締結しており、相談者数により委託料が変動するものではない」との答弁がありました。

また、3款2項4目、看護師等確保対策事業費の審査の中で、「本事業の重要性は十分認識しているが、需要はどの程度あるのか」との質疑があり、「看護師を目指す学生の割合は50人に1人程度と言われている。看護学生は、何らかの修学資金等を活用して学ばれる方の比率が高いと聞いている」との答弁がありました。

以上で報告を終わります。

○議長（井坪 隆君） 続いて、消防環境委員会の報告を求めます。

消防環境委員長、熊谷泰人君。

○消防環境委員長（熊谷泰人君） 議案第17号「令和3年度南信州広域連合一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、消防環境委員会の分担となりました部分につきましては、原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第17号の審査の概要については、特に申し上げることはございません。

以上で報告を終わります。

○議長（井坪 隆君） ただいまの各委員長報告について御質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（井坪 隆君） なければ質疑を終結いたします。

討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（井坪 隆君） なければ討論を終結いたします。

これより、議案第15号及び議案第17号の以上2件を採決いたします。

お諮りいたします。

議案2件について、各委員長報告のとおり決定することに御異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（井坪 隆君） 御異議なしと認めます。

よって、議案2件は、各委員長報告のとおり決定されました。

閉 会

○議長（井坪 隆君） 以上をもちまして、全ての日程を終了いたしました。

ここで、広域連合長から発言の申出がありますので、これを認めます。

佐藤広域連合長。

○広域連合長（佐藤 健君） それでは、閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は提案いたしました案件につきまして慎重に御審議いただき、それぞれ御決定を賜りましたことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

審議の過程で御指摘のありましたことにつきましては、執行に当たって十分に配慮してまいりたいと思います。

また、先ほどは、小平議員から一般質問で取り上げていただきましたけれども、信州大学新学部誘致の件につきましては、信大側の学内検討の様子がなかなか外に伝わってこないということで、郡市民の皆様も心配をしておられる、気をもんでおられることというふうに思いますが、引き続き、誘致協議会の一員でもある広域議会の皆様と一緒に誘致活動にしっかり取り組んでいきたいと思っておりますし、それをただ待つだけの時間としないように、大学のあるまちというのはどんなまちなのか、そういったものをしっかり考えてまちづくりも進めていくということで取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続き議員各位の御理解と御協力をお願いをしたいと思います。

なお、この後の全員協議会におきまして、現在の広域連合の取組み、あるいは当面の諸課題につきまして、御報告、御説明をさせていただきますので、よろしく御申しあげます。

以上申し上げます、閉会のごあいさつといたします。

本日はありがとうございました。

○議長（井坪 隆君） これをもちまして、令和4年南信州広域連合議会第2回定例会を閉会といたします。

御苦労さまでした。

閉会 午後2時32分

議 員・事務局・説明員出席表

I、議員出席表

議席番号	氏 名	11月30日	議席番号	氏 名	11月30日
1	河 本 明 代	○	18	小 平 一 博	○
2	片 桐 忠 彦	○	19	米 山 郁 子	×
3	平 澤 恒 雄	○	20	大 蔵 洋	○
4	中 森 高 茂	○	21	中 平 文 夫	○
5	後 藤 章 人	○	22	清 水 優一郎	○
6	中 島 正 夫	○	23	福 澤 克 憲	○
7	熊 谷 美沙子	○	24	竹 村 圭 史	○
8	後 藤 和 彦	○	25	古 川 仁	○
9	福 沢 敏	○	26	木 下 德 康	○
10	坂 巻 秀 高	○	27	山 崎 昌 伸	○
11	宮 澤 茂 樹	○	28	熊 谷 泰 人	○
12	吉 田 哲 也	×	29	新 井 信一郎	○
13	大 嶋 正 男	○	30	清 水 勇	○
14	栗 生 勝 由	○	31	永 井 一 英	○
15	伊 藤 公 市	○	32	井 坪 隆	○
16	三 浦 喜久夫	○	33	原 和 世	△
17	岩 口 友 雄	○			

II、地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

No.	役職名	市町村名	氏名
1	広域連合長	飯田市	佐藤 健
2	副広域連合長	豊丘村	下平 喜隆
3	松川町長	松川町	宮下 智博
4	阿南町長	阿南町	勝野 一成
5	阿智村長	阿智村	熊谷 秀樹
6	平谷村副村長	平谷村	塚田 浩
7	根羽村長	根羽村	大久保 憲一
8	下條村長	下條村	金田 憲治
9	売木村長	売木村	清水 秀樹
10	天龍村長	天龍村	永嶺 誠一
11	泰阜村長	泰阜村	横前 明
12	喬木村長	喬木村	市瀬 直史
13	大鹿村長	大鹿村	熊谷 英俊
14	副管理者	飯田市	高田 修
15	会計管理者	南信州広域連合	北原 香子
16	事務局長	南信州広域連合	吉川 昌彦
17	事務局次長兼総務課長	南信州広域連合	小椋 貴彦
18	地域医療福祉連携課長	南信州広域連合	伊藤 久子
19	飯田環境センター事務長	南信州広域連合	飯田 修
20	消防長	広域消防	有賀 達広
21	消防次長兼総務課長	広域消防	北澤 俊彦
22	警防課専門幹	広域消防	新井 悟

Ⅲ、本会議に職務のため出席した者

No.	役職名	市町村名	氏名
1	事務局総務課広域振興係長	南信州広域連合	野 牧 和 将
2	事務局総務課庶務係	南信州広域連合	松 澤 寿 和

以上、会議の内容に相違なきことを認め、地方自治法第123条の規定によりここに署名する。

令和 年 月 日

南信州広域連合議会議長

会議録署名議員

会議録署名議員
